

# 平成30年度事務事業評価シート（平成29年度決算）

事業コード	530 - 4 -	作成者氏名	中本 信一	連絡先	0833-72-1473	
事務事業名	受益者負担金徴収事業	担当課	下水道課			
予算費目	下水道事業特別会計	款 1	下水道事業費	項 1	下水道事業費	
第2次 総合計画	基本目標	コード 4 1 4	項目	自然と都市が潤い豊かに調和したまち		第2次総合計画 154頁
	重点目標			自然を守り育てるために		
	政策			公共用水域の保全		

対象	大和地区内の新規受益地所有者等	意図 (対象をどのようにしたいのか)	下水道工事費の一部負担金を納付することで、下水道を導入する。
事務事業の概要	受益者負担金の賦課に関する情報整理、申告書の提出依頼整理、受益者負担金賦課、徴収		

事務事業の成果指標	単位	28年度実績	29年度			32年度目標	類似団体等の実績値等
			実績	目標	達成度		
現年度収納率	%	95.7	94.8	98	96.7%	98	

◆事務事業（予算事業）を構成する業務◆

番号	業務の名称 (●=行動計画対象業務)	活動指標・事業費（千円）					業務評価	重点業務
		指標名	単位	28年度実績	29年度実績	30年度目標		
		事業費	単位	28年度決算	29年度決算	30年度予算		
1	大和地区の新規受益地の負担金決定・徴収	受益者負担金収納額	千円	819	571	128	B	◎
		事業費	千円	57	38	130		
2		事業費	千円					
3		事業費	千円					
4		事業費	千円					
5		事業費	千円					
6		事業費	千円					
7		事業費	千円					
8		事業費	千円					
9		事業費	千円					
10		事業費	千円					
11		事業費	千円					
12		事業費	千円					
13		事業費	千円					
14		事業費	千円					
15		事業費	千円					
直接事業費の合計（千円） A				57	38	130		
職員人件費等		業務量（人工数）		0.40人	0.55人	【業務評価】		
		人件費（千円） B		2,832	3,924	A：達成済 目標水準プラス見直し		
人件費を含む総事業費（千円） A + B				2,889	3,962	B：実施手法の要改善		
財源内訳		国庫支出金				C：目標水準マイナス見直し 実施手法の見直し		
		県支出金				D：業務廃止・完了の意向		
		地方債				E：29年度を以て廃止・終了		
		その他				F：一時的に実施無し		
		一般財源		2,889	3,962			

「重点業務」欄で、最重点化、重点化する業務として選択した理由
受益者負担金制度とは、公共下水道を計画的に建設するための財源として、下水道が整備されることによって利益を受ける方に建設費の一部を負担していただく制度であり、受益者から負担金を徴する業務は重要であるため。

◆事務事業の評価◆

評価の視点	事務事業を実施した結果をそれぞれの視点で評価する。
事務事業の成果	成果指標を踏まえ、達成度や事業の効果を分析する。 大和地区内の新規受益者へ負担金の賦課を行い、工事費に充当していくことが必要であり、今後も収納率の向上に努めることが必要である。
業務構成の有効性	事務事業の意図を達成するための業務の構成として適切かどうかを分析する。 今後も管渠整備を継続していく上で、大和地区内の新規受益者からの負担金を工事費に充当していくことが必要である。
実施主体の妥当性	事務事業に対する市の役割、関係団体等（企業、地域団体、NPO等）の役割分担が適切かどうか分析する。 受益者負担金に関する賦課、徴収を市で実施するのは妥当である。

◇担当課における改善等の案◇（※以下、意思形成過程につき非公開）

事務事業執行責任者 （課長名）	森重 哲昌	最終評価責任者 （部長名）	小田 淳
--------------------	-------	------------------	------